

## 日本薬学教育学会 学会誌「薬学教育」概要

- 誌名： 薬学教育
- 英文誌名： Japanese Journal of Pharmaceutical Education (JPhE)
- 発行機関： 日本薬学教育学会 (Japan Society for Pharmaceutical Education)
- 発行地： 東京都文京区
- 刊行年： 2017 年
- ISSN： ONLINE ISSN (ISSN-L) XXXX-XXXX (未取得)  
PRINT ISSN 2432-4124
- 刊行目的： 薬学教育およびその関連領域に関する論文の掲載
- 刊行形態： J-STAGE 電子ジャーナル公開システムを利用したオンラインジャーナル、冊子体は年 1 回  
通常は採択された論文を、順次 PDF として J-STAGE に公開する。  
年 1 回、1 年間に発表された論文をまとめて冊子体として刊行する。
- Web サイト： <http://www.jsphe.jp/>  
概要、投稿規定、投稿用テンプレート、原稿チェック票を掲載する。
- 編集委員会： 委員長 入江徹美  
委員 有田悦子、石川さと子、大谷壽一、小澤孝一郎、亀井美和子、  
小佐野博史、平田收正、松野純男、山田純一
- 編集事務局： 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷 (株) 内  
「薬学教育」編集事務局  
E-mail: [jjphe-ed@nacos.com](mailto:jjphe-ed@nacos.com)  
TEL: 075-441-3155  
FAX: 075-417-2050

# 「薬学教育」投稿規定

## 1. 「薬学教育」の目的

本誌は日本薬学教育学会の機関誌であり、薬学教育およびその関連領域に関する論文を掲載する。

## 2. 刊行形態

本誌は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が構築した「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）にて随時公開する。公開された論文は1年分を取りまとめ、冊子体として毎年1巻を1月に刊行する。冊子体は原則としてモノクロ印刷とする。

## 3. 投稿資格

筆頭著者は本学会の会員に限る。ただし、編集委員会から依頼された原稿についてはこの限りではない。

## 4. 投稿および掲載区分

1) 投稿論文は、以下のいずれかの区分とする。

- 〔原 著〕 薬学教育およびその関連領域に関する論文で、独創性・新規性があり、かつ、科学的に価値ある事実あるいは結論を含むもの。
- 〔短 報〕 薬学教育およびその関連領域に関する論文で、独創性のある所見、見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告。
- 〔総 説〕 薬学教育およびその関連領域に関する特定の主題について、これまでの知見、研究業績を総括し、体系化あるいは解説したもの。原則として編集委員会が執筆を依頼する。
- 〔実践報告〕 特定の施設あるいは特定の地域における教育およびその関連の領域に関する独創性あるいは新規性のある実践活動報告。

2) 投稿論文の内容は、他の出版物（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。重複投稿は禁止する。

## 5. 言語

投稿言語は、日本語あるいは英語とする。英文投稿において、ネイティブスピーカーではない場合、投稿前にネイティブスピーカーによる校閲を受けること。

## 6. 倫理的配慮

投稿論文の研究は、関連した法規、指針、ガイドラインを遵守して実施すること。人を対象とした研究で倫理的な配慮が必要なものは、研究開始に先立ち投稿者の所属施設の倫理審査委員会等で承認されることが必要である。投稿論文には、具体的な倫理的行動及び倫理審査委員会等の承認番号を本文中の「方法」あるいは該当する箇所に明記すること。

## 7. 採否・掲載順位

- 1) 投稿原稿については複数の査読者の意見をもとに編集委員会で検討し、その採否を決定する。
- 2) 編集委員会の判定により、掲載区分の変更を著者に求めることがある。
- 3) 掲載順位は編集委員会で決定する。ただし、掲載は受理順を原則とする。

## 8. 利益相反

投稿論文の研究について、著者全員が利益相反に関する自己申告書を提出すること。

## 9. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、本学会に帰属する。

## 10. 掲載費用

- 1) 組み上がり 1 頁あたり 3,000 円とする。
- 2) J-STAGE での掲載にあたっては、図・写真はカラーであっても著者の負担はない。ただし、冊子体（原則モノクロ印刷）でのカラー掲載を希望する場合には、カラー印刷費を著者負担とする。
- 3) 別刷は著者校正の際に注文が可能で、別刷の費用は印刷料、送料を含め著者負担とする。

## 11. 著者校正

著者校正は原則として初校のみとする。校正は印刷ミスのみについて行い、本文、図表の大幅な変更は認めない。なお、投稿者が連名の場合は、連絡著者に校正原稿を送付する。

## 12. 投稿原稿の受付・問合せ

新規の投稿原稿は本学会の WEB 投稿フォーム（下記 URL）にて受け付ける。原稿の電子ファイルは 4 個以内（原稿チェック票を含めて 5 個以内）、ファイル容量は合計 5 MB 以下とする。WEB 投稿フォームでの投稿が困難な場合は、出力原稿 1 部およびデータを保存した電子媒体（CD-R 等）を編集事務局宛に郵送する。なお、送付された CD-R 等電子媒体は返却しない。

〈WEB 投稿フォーム〉

<https://pro.form-mailer.jp/fms/38d6eaa0102838>

〈原稿送付先・問合せ先〉

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷（株）内

「薬学教育」編集事務局

E-mail: [jjphe-ed@nacos.com](mailto:jjphe-ed@nacos.com) TEL: 075-441-3155 FAX: 075-417-2050

## 執筆要項

### 1. 原稿チェック票

投稿に際し、原稿チェック票を本誌 Web サイトから入手し、もれなく記入した原稿チェック票を提出すること。

### 2. 原稿様式

- 1) 原稿は、定められたテンプレートファイルを用いて作成し、数字、記号は半角文字を用いること。
- 2) 原稿は表紙、抄録、本文（原則として、「目的」、「方法」、「結果」、「考察」、「文献」の順序とする。「総説」、「実践報告」では形式が異なっても差し支えない）、図表説明文、表、図、の順とする。
- 3) 表紙に論文題名、著者名、所属名を和文、英文の両方で記載し、最後に連絡著者の住所、電話番号及び e-mail アドレスを明記すること。表紙の右肩に論文の掲載区分「原著」、「短報」、「総説」、「実践報告」を明記する。著者の所属が複数の場合は、上付きの数字を著者名の後に付す。連絡著者は上付きの\*を所属番号の後に付す。
- 4) 本文が和文、英文にかかわらず、和文抄録（400 字以内）、英文抄録（250 語以内）、キーワード（日本語・英語でそれぞれ 5 語以内）を付ける。キーワードは原則として単語とし、長い文になることは避ける。また英文抄録については投稿前に必ずネイティブスピーカーによる校閲を受けること。
- 5) 図（グラフ、写真を含む）や表は、本文末に 1 枚ずつそれぞれ別紙に添付する。いずれも明瞭なものであること。
- 6) 電子付録（Supplementary materials）については、著者の申し出があり、かつ編集委員会が適当と判断する場合、J-STAGE に掲載することができる。電子付録がある場合は、本文の最後（利益相反の後）に「この論文の J-STAGE オンラインジャーナル版に電子付録（Supplementary materials）を含んでいます」と記載すること。

### 3. 原稿の長さ

- 1) 本文，図表を含めて，「原著」は A4 判用紙 16 枚（約 12,800 字：本誌刷り上がり 8 ページ相当）以内とする。「短報」，「実践報告」はそれぞれ 12 枚（6 ページ相当）以内とする。
- 2) 図，表は原則としてそれぞれ 1 点を A4 判用紙 0.5 ページとみなす。

### 4. 用語

- 1) 新かな遣いを用い，本文中の外国人名・地名は原語あるいは英語を用い，薬品名は原則として一般名で書くこと。特定の薬品，機器・材料などを記載するときは，商品名，商標または登録商標であることを明示すること。一般名と併記する場合は，一般名を優先し，商品名等をカッコ内に示す。
- 2) 論文中で繰り返される語は略語を用いて差し支えないが，初出の際には省略せずスペルアウトすること。ただし，附録 1 に示した語についてはスペルアウトせず可以使用。
- 3) 度量衡は SI 単位系（mm，cm，mL，dL，mg，kg など）を用いること。

### 5. 利益相反

本文の最後（参考文献の前）に，「利益相反」として必要事項を以下の例を参考にして記載すること。

- 1) 開示すべき利益相反がない場合

【記載例】 発表内容に関連し，開示すべき利益相反はない。

- 2) 開示すべき利益相反がある場合：著者名と開示する内容を記載する。

【記載例】 発表内容に関連し，開示すべき利益相反を以下に示す。

1. 役員・顧問：あり（著者名，XX 製薬）
2. 株保有状態：あり（著者名，XX 製薬）
3. 特許使用料：あり（著者名，XX 製薬）
4. 講演料・原稿料：あり（著者名，XX 製薬）
5. 受託研究費・共同研究費・奨学寄付金：あり（著者名，XX 製薬）
6. 寄付講座所属：（著者名，XX 製薬）

### 6. 参考文献

参考文献は本文と直接関係のあるものに止め，本文中で引用する都度，順次上付きの算用数字で番号を付け，参考文献欄に番号順に列挙する（バンクーバー方式）。文献の書誌情報の記載は「生物医学雑誌への投稿のための統一規定」に準ずるが，著者・共著者は 3 名まで記し，4 人目以降は「他」「et al.」を用いて省略する。和文誌は完全誌名，英文誌は Index Medicus 採用の略誌名を使用する。附録 2 の記載例を参考にすること。

### 7. 原稿データフォーマット

原稿データは以下のフォーマットを推奨する。ファイル名は半角英数字のみを用いて付け，ファイル名にスペース，ピリオド，①②などの丸囲み数字，I，II などの全角ローマ数字は使用しないこと。ファイル数の制限（原稿チェック票を除いて 4 個以内）があるため，複数の図表は Excel のシートに分けて作成するなど，1 つのファイルにまとめることが望ましい。

本文： Microsoft Word 形式（テンプレートファイルを入手して使用すること）

表： Microsoft Word 形式，または Microsoft Excel 形式

図（グラフ・写真）：

Microsoft PowerPoint 形式，Microsoft Word 形式（ファイルに貼り付ける場合は解像度に留意すること）

PDF 形式，PSD 形式（Adobe Photoshop），AI 形式（Adobe Illustrator）

※刷り上がりを考え，明瞭な図にすること。カラーで作成する場合，J-STAGE ではそのまま表示されるが，

冊子体はモノクロ印刷であることを想定して配色・コントラスト等に注意すること。

※解像度については以下の設定が望ましい。

[写真] 仕上がりサイズ 300 dpi [線画] 仕上がりサイズ 1000 dpi

不明な点は編集事務局に問い合わせること。

## 附録 1 本文中でスペルアウトせずに使用できる略語

(アルファベット順, 最新のリストは Web サイトで公開する)

CBT	Computer-Based Testing	コンピューターによる客観試験
GIO	General Instructional Objective	一般目標
OSCE	Objective Structured Clinical Examination	客観的臨床能力試験
OTC	Over the Counter	
QOL	Quality of Life	生活の質
SBO	Specific Behavioral Objective	到達目標・行動目標
SGD	Small Group Discussion	小グループ討論
WHO	World Health Organization	世界保健機関

## 附録 2 参考文献の記載について

「生物医学雑誌への投稿のための統一規定(2010年改訂版)」は、医学雑誌編集者国際委員会(International Committee of Medical Journal Editors) および米国医学図書館(NLM) がとりまとめた統一規定であり、書誌情報の記載方法は「NLM Citing Medicine 2<sup>nd</sup> edition」(<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK7256/>) に、様々な情報源の種別、メディアごとに記載された例に従うことが推奨されている。Index Medicus が採用している雑誌の略称は NLM の Web サイト(<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>) で確認することができる。

以下には、代表的な情報源ごとの例を示す。各項目の区切りは半角のカンマまたはピリオドを用いること。下記に例がない場合は、上記 NLM Citing Medicine 2<sup>nd</sup> edition で確認することができる。

### 1 原著, 総説

原則: 著者名. 表題. 雑誌名. 出版年; 巻(号): 開始ページ-終了ページ.

インターネット上に公開されている情報では、URL, 参照年月日, doiなどを記載する。

- 1) 半谷眞七子, 松葉和久, 松井俊和. 薬学生の臨床コミュニケーション教育の評価としての客観的臨床能力試験 (OSCE) の試みとその評価. 医療薬学. 2005; 31(8): 606-619.  
著者名 (姓と名の間にスペースは不要) 表題 (最後にピリオドをつける)  
雑誌名 出版年 巻(号) 開始ページ-終了ページ  
(和名雑誌名は略さない)
- 2) Elmore L, Skelley J, Woolley T. Impact of adapted team-based learning methods on student self-assessment of professionalism, teamwork, and skills in a self-care course. Curr Pharm Teach Learn. 2014; 6(4): 488-493.  
著者名 (ファーストネームはイニシャルにする) 表題  
雑誌名 出版年 巻(号) 開始ページ-終了ページ  
(略した後にピリオドは不要。最後の区切りのみ)
- 3) Giri B, Peesara RR, Yanagisawa N, et al. Undergraduate laboratory module for implementing ELISA on the high performance microfluidic platform. J Chem Educ. 2015;92(4):728-732. Available from: <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC4457339/>. doi: 10.1021/ed4009107.  
著者名 (4人目以降は省略) 表題  
雑誌名 出版年 巻(号) 開始ページ-終了ページ  
URL doi

## 2 書籍

### (1) 一部を参照する場合

- 1) 工藤一郎. ‘薬学’21世紀日本への発信-日本学術会議薬学系三研連合同シンポジウム-. 鶴尾 隆, 桐野 豊,  
該当部分の著者名 書籍のタイトル (最後にピリオドをつける) 編集者  
工藤一郎, 辻 彰編, 東京: エルゼビア・ジャパン; 2004. p. 60-67.  
発行地 出版社 出版年 開始ページ-終了ページ

### (2) 全体を参照する場合

- 2) Seldin P, Miller JE, Seldin CA, et al. The Teaching Portfolio: A Practical Guide to Improved Performance and  
著者名 (イニシャルは first name, middle name の順) 書籍のタイトル (最後にピリオドをつける)  
Promotion/Tenure Decisions (4<sup>th</sup> ed.). San Francisco, CA: John Wiley & Sons, Inc.; 2010.  
発行地 出版社 出版年

## 3 インターネット上の資料や情報

原則： 公開元, 資料の名称, URL, 参照年月日 (最終アクセス日付), doiなどを記載する。

- 1) 薬学実務実習に関するガイドライン[Internet]. 文部科学省 薬学実務実習に関する連絡会議; 2015年2月  
Web ページのタイトル, 資料名 (最後に[Internet]とつける) 資料・情報の提供者名 公開年月日 (および更新年月日)  
(参照 2016年5月31日) http://www.mext.go.jp/b\_menu/shingi/chousa/koutou/058/gaiyou/1355408.htm  
参照年月日 (最後にアクセスした年月日) URL
- 2) Barr H, Low H. Principles of Interprofessional Education [Internet]. Fareham, UK: Centre For The  
資料提供者 (著者) 資料名 (最後に[Internet]とつける) 機関所在地 資料を提供している機関名  
Advancement Of Interprofessional Education; 2011 Jan [cited 2016 Jun 27]. Available from:  
公開年月日 (および更新年月日) 参照年月日 (最後にアクセスした年月日) URL  
http://caipe.org.uk/resources/principles-of-interprofessional-education/.